

第 10 次 上川町社会教育中期振興計画

令和5年度～令和9年度

～つながる～



地域の仲間との絆を深めながら、共に楽しく学びあい
健やかな成長を目指すとともに、郷土への愛着心を育みます

上川町教育委員会



上川町町民憲章

わたくしたちは、山紫水明の自然美に恵まれた大雪山ろく上川の町民であることに、よろこびと誇りを感じ、郷土をよりよく、ゆたかにするために、この憲章を高くかかげてその実行につとめます。

- 1 ゆかしい心を育て、強いからだをつくります。
- 2 元気で働き、楽しい家庭をつくります。
- 3 よいならわしと美しい環境をつくり、明るい町をきずきます。
- 4 文化を育て、豊かな郷土をつくります。
- 5 自然を愛し、旅行者をあたたく迎えます。

(昭和40年制定)

上川町教育目標

- 1 健康で明るい町民になる。
寒さに負けない強い心とからだをつくり、明るい生活を築く。
- 2 自ら学び、豊かな知識と創造力をもつ町民になる。
雄大な大雪を背景にして、北方文化の発展に役立つ知識や技能を身につける。
- 3 ものごとを正しく理解し、課題解決に努める町民になる。
科学的な態度や能力を理解し、たくましい開拓精神を身につける
- 4 働く喜びを持ち、生活の向上に努める町民になる。
町の持つ産業の特殊性を理解し、たくましい開拓精神を身につける。
- 5 郷土の自然や文化を愛し、思いやりのある礼儀正しい町民になる。
道徳性を高め、美しい郷土をつくる。

(昭和30年制定 昭和60年一部字句修正)

目次

第10次上川町社会教育中期振興計画の基本的な考え方

- 1 計画策定の意義と基本的考え 1
- 2 社会教育行政を取巻く教育施設の変化 1
- 3 計画の基本方針 2
- 4 計画の推進期間 2

社会教育推進のテーマと目標

- 1 ~つながる~ 3
- 2 中期振興計画の基本構造 4

具体的支援と推進目標

- 1 幼少年教育 5
- 2 成人教育 5
- 3 シニア教育 6
- 4 地域・社会教育基盤 6
- 5 スポーツ・文化・レクリエーション 6

かみかわちょう学び場マップ 7

社会教育中期振興計画策定資料

- 1 諮問書・策定までの経過 9
- 2 答申書・委員名簿 10

第10次上川町社会教育中期振興計画の基本的な考え方

1 計画策定の意義と基本的考え

上川町ではこれからのまちづくりを考えるに当たり「第10次上川町総合計画」(2018年度～2027年度)を策定し、『～自然と調和した未来～恵み豊かな大地と人がおりなすおもてなしのまち 上川』を将来像に掲げ、まちづくりを進めてきました。

社会教育行政においては、この総合計画の指針を基に2018年(平成30年)に「第9次上川町社会教育中期振興計画」を策定し、関係機関・団体などと連携しながら町民一人ひとりが「いつでも・どこでも・だれでも」学習に取り組むことができ、生涯を通じて自ら学び自ら考える力を身に付けられるよう環境整備に努めてきました。

「第10次上川町社会教育中期振興計画」は、今後上川町における5年間の社会教育活動の根本となることから、町民意識調査を実施し、その結果を踏まえながら現状と課題の整理検討を行い策定しました。本計画は、生涯学習・社会教育から郷土の良さを再認識するとともに、つながりを大切にした絆づくり・仲間づくりを行い、共に学び成長することで、地域コミュニティを活かした上川のまちづくりを目指すものです。

2 社会教育行政を取巻く教育施設の変化

社会教育行政を取巻く町教育施設については、2019年(令和元年度)に総合体育館トレーニングマシンの更新を行い町民の健康推進を進めるとともに、2020年(令和2年度)に総合グラウンドの傷みがあった陸上競技に使用するタータントラックの修繕工事を行い、陸上少年団をはじめ子どもたちの健全な育成に大いに利用されています。

2018年(平成30年度)、老朽化による建て替えによって、上川町給食センターがオープンしました。学校給食衛生管理基準に準拠し、ドライシステムに対応した

調理場のほか、食物アレルギーに対応した特別調理室など細かなニーズに対応し、町内小・中学校および私立幼稚園に給食提供を開始しました。

また、2021年(令和3年度)からは上川高校の希望する生徒へも給食を拡充し、地域として子どもたちを支える環境づくりを整備してまいりました。

3 計画の基本方針

計画策定にあたり社会教育委員の会において、町民意識調査の集計結果を踏まえ、町民の視点に立ち計画の策定に取り組みました。

意識調査の結果、2019年(令和元年)12月初旬から発生し現在も多くの感染者を出している新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで多くの住民が交流し培ってきた地域コミュニティの疎遠化がおき、孤立・孤独感が表面化してきたことが判明しました。

そのような状況が進む中でアフターコロナ・ウィズコロナを見据えた地域コミュニティの再構築事業などの取組の重要性や、多様化した住民の学習ニーズへ対応の必要性が見えたことから、この計画のテーマ、目指す姿を以下のように設定しました。

テーマ 「つながる」

目指す姿 「地域の仲間との絆を深めながら、共に楽しく学びあい、健やかな成長を目指すとともに、郷土への愛着心を育みます。」

4 計画の推進期間

上川町社会教育の総合的な計画とし2023年度(令和5年度)から2027年度(令和9年度)までの5年間の社会教育事業の企画に反映し、町民の充実した学習環境の整備に努めてまいります。

<社会教育推進のテーマと目標>

～つながる～

いろいろやりたいけれど現実的には・・・

どうやって仲間を増やしたらいいのかなあ？
 学びたいけど、誰か教えてくれないかなあ～。
 知識をどうやって活かしたらいいかなあ～。
 引越してきたけど、町の人ともっとかかわりたいな。



何かやりたい!!
 どこに相談したらいいか?
 お金がかかるモノなのかな

学ぶ人たちを応援するために行政ができること

- ☆学ぶ仲間が集う場づくり
- ☆多様な年齢層との相互交流を行う場の提供
- ☆学習成果を発表する場の提供
- ☆文化活動のサポート
- ☆町から学習情報の発信 etc..
- ☆各年齢層の欲求にあった学習サービス
- ☆健康な体づくりの促進
- ☆指導者の発掘と活用
- ☆社会教育施設の活用促進

心も体も健康に、学びを通して楽しく暮らそう!!

みんなで目指す目標は

- ☆仲間と共に楽しく学び合い、学びの輪を広げよう。
- ☆学んだことを生活に活かし、健やかな暮らしを目指そう。
- ☆多様な年齢層の人たちと学び、共に成長することで地域の絆を深めよう。
- ☆自分の住む郷土を理解し、愛着心を育てよう。

仲間ができたよ
 やってみたら意外に簡単!
 発表の場があるって良いよね
 生活に張りが出てきて毎日が楽しいなあ!



上川町社会教育中期振興計画の基本構造

町民憲章、教育目標、第10次上川町総合計画と第10次上川町社会教育中期振興計画の関連図

上川町町民憲章

上川町教育目標

町民憲章・教育目標を達成するために計画を作成

第10次上川町総合計画

- 将来像** ～自然と調和した未来～
 恵みの豊かな大地と人がおりなすおもてなしのまち 上川
- まちづくり大綱**
- I. 地域の特性を生かした活力のあるまちづくり
 - II. 一人ひとりが安心して健やかに暮らせるまちづくり
 - III. 豊かな文化と次世代の人材を育むまちづくり
 - IV. 安全安心で住みよい環境のまちづくり
 - V. 自然を生かした潤いのあるまちづくり
 - VI. みんなで創り育てる協働のまちづくり

互いの計画を基に社会教育事業を実行

第10次社会教育中期計画

- テーマ** 『つながる』
- 目指す姿** 『地域の仲間との絆を深めながら、共に楽しく学びあい、健やかな成長を目指すとともに、郷土への愛着心を育みます。』

中期計画の目指す姿に向かい、各社会教育事業を展開

幼少年
教育

成人
教育

シニア
教育

地域
社会教育基盤

スポーツ
文化
レクリエーション

みんなで学習するための

町民意識調査や社会教育委員によるグループワークを基に、町民が参加するために

幼少年教育 (0歳~18歳)

今後5年の目標	具体的な支援
自己有用感を育み、健やかな育成を行います。	子どもたちが事業を通じて成功体験を得られるよう事業サポートをします。
子どもたちの自発的な考える力を育てます。	子どもたちが【気づき・考え・まとめ】を発表する場を提供します。
子どもたち同士の絆を深めるほか、大人との交流を通し、地域の輪を育てることで健全な育成と、地域コミュニティへの参画を促します。	子どもたちが相互理解できるような事業を提供するほか、多くの年齢層との交流を支援します。
生きる力(知恵)を身に付け、成人世代へのスムーズなステップアップを推進します。	郷土の自然や地域で様々な体験活動(フィールドワーク)の充実を図ることで、子どもたちの体験・交流活動を支援します。
楽しく学べる環境づくりを支援する体制の充実を図ります。	学校・家庭・地域が一体となり連携や協力を深めながら、地域の子どもたちを幅広く育成します。

幼少年から成人教育へ



成人教育からシニア教育に



成人教育 (19歳~64歳)

今後5年の目標	具体的な支援
仲間との出会いを大切に、共に学び地域に還元する機会の充実を図ります。	事業を通し、同じような目的を持つ仲間が集う機会の充実を図るとともに学習意欲の向上に、効果的な方法で支援します。
地域の活性化にむけ故郷への愛着を深め、地域において互いに連携できる体制の充実を図ります。	仲間づくりや、地域ボランティアなどの事業をおこなうほか、実践的な事例等を学習できるようにサポートします。
子育てを通じ親同士や子育てに係る人たちとの交流を促進します。	親同士や子育てに係る人たちが気軽に意見交換できる場を設立するほか、親と子が絆を深めながら共に体験・学習できるプログラムを提供します。
自分らしさや生き方について、学びを深め自身を見直すことでイキイキとした生活を目指します。	多種多様なライフスタイルに対応した指導者を、指導者銀行から派遣するほか、町外からの講師招へいのサポートを行います。
自ら学ぶ意欲をかき立て、仲間と共に目標に向かう学習活動をサポートします。	自主学習講座などを活用し個々の学びのサポートを行います。

推進目標と具体的な支援

社会教育として必要とされる推進目標を設定しました ※各年齢階層は、本計画における設定年齢とします。

シニア教育 (65歳以上)

今後5年の目標	具体的な支援
地域でイキイキと活躍する機会の充実を図ります。	これまで培われてきた知識・知恵を地域の次世代に伝える活動の取組を支援します。
学習から日々の生活の活力につなげ、地域コミュニティへの参画を目指します。	ニーズとして求められた、身近な課題をテーマにした講座を随時開設します。
世代間交流の充実を図ります。	シニア世代と子どもたちが相互に楽しくふれあうために、世代間交流の機会を提供します。
情報化が進む時代を上手に付き合っていくため、シニア世代が互いに教えあえる地域コミュニティを目指します。	スマホ・PC講座など新しい機器を学ぶ機会の充実を図りサポートを行います。

地域・社会教育基盤

今後5年の目標	具体的な支援
町民や移住者の交流を深め、地域コミュニティの活性化を図ります。	町民や移住者が新たな交流をおこなうことで、お互いが理解できるような事業を提供します。
多くの町民が、誰でも集い・学び・交流できる場の活用を図ります。	施設の利用方法や料金などを周知するとともに、住民ニーズに沿った改修などを進め利用促進を行います。
新たな技術を使い、場所を選ばず学習することができる機会を促進します。	ICT機器やデジタル教材を活用しながら、自宅など離れた場所からでも参加できる環境を整備します。
郷土資料館を活用して先人の苦勞、町の発展の歴史や自然を知る学習活動を深めます。	郷土の自然や歴史を次世代に伝えるために、資料の整備に努め、学習教材としての活用を促進します。

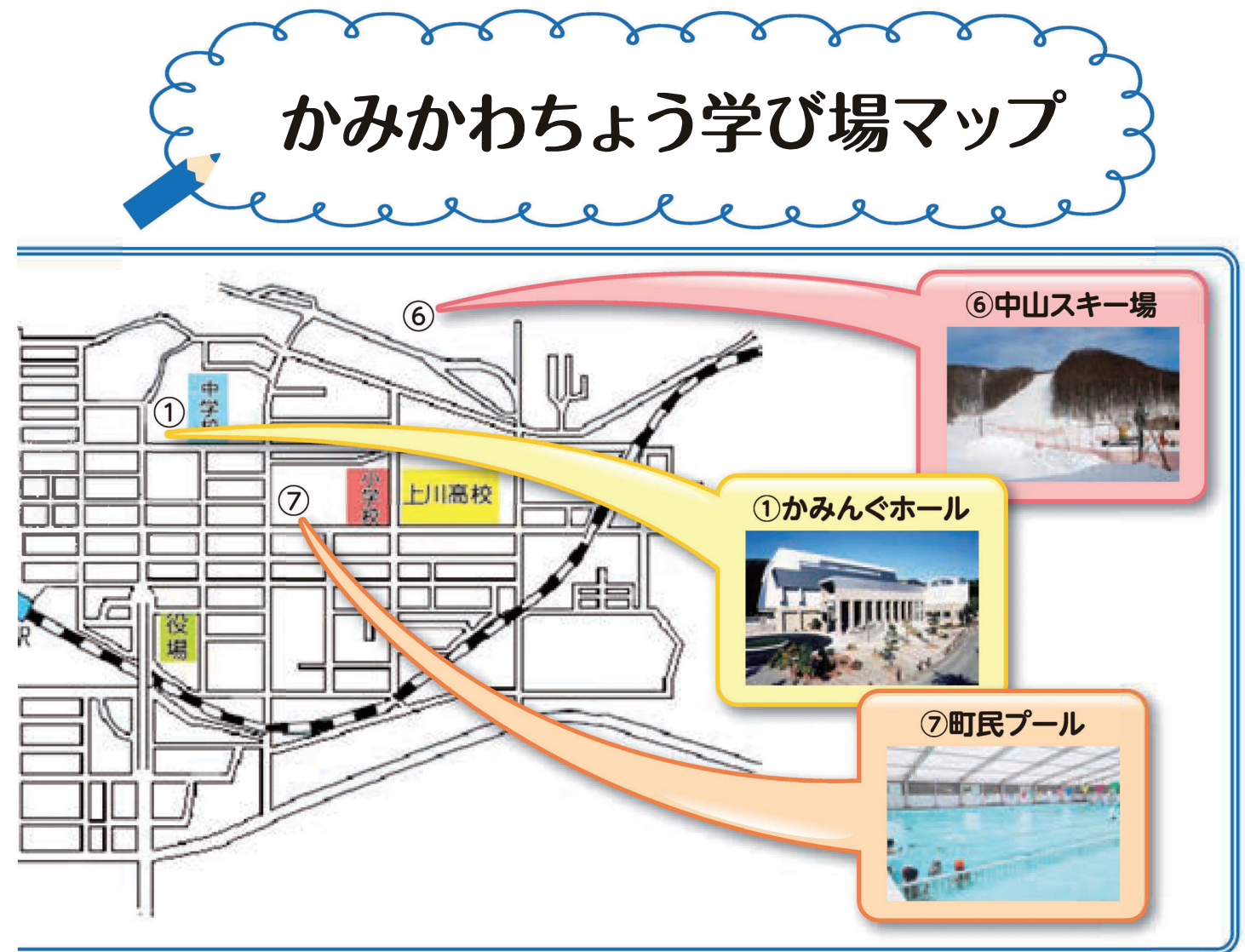
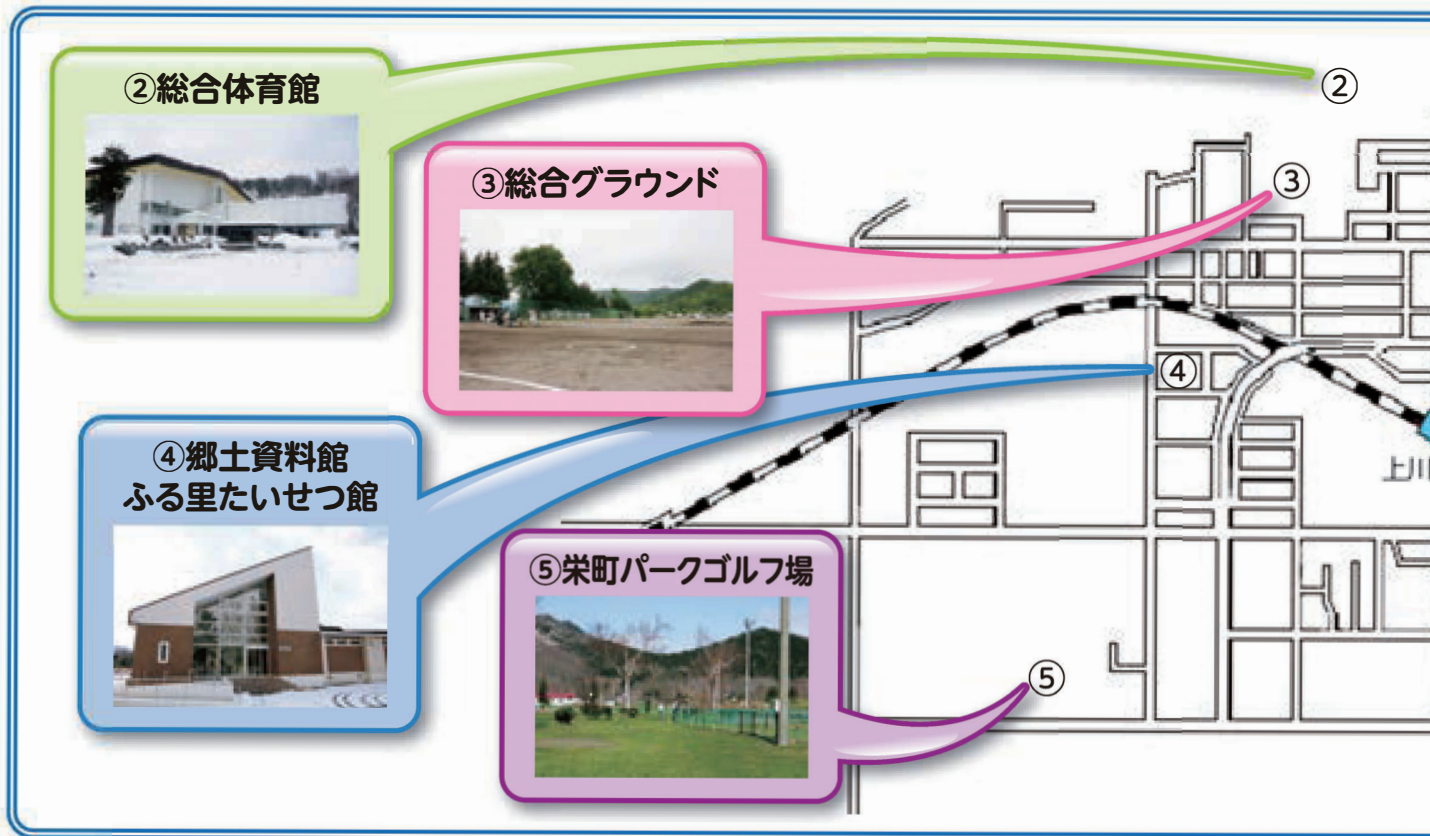
スポーツ・文化・レクリエーション

今後5年の目標	具体的な支援
子どもから大人まで、みんなで取り組める活動を推進します。	世代を超えた参加を促しスポーツ・レクリエーションで交流を行います。
健やかな体づくりから、豊かな生活を目指します。	運動・スポーツ習慣化促進事業のほか個々の活動をサポートする事業を支援します。
誰でも気軽に文化にふれることで、地域文化の伝承活動の活性化を図ります。	文化活動や伝統文化を支援し、参加者間の交流を深めます。
町民が教養を学び深めたり、文化を発表する場を設け文化活動の発展を目指します。	文化講演会や文化鑑賞事業などで文化と触れ合う機会を図るほか、公民館事業での展示会などで誰でも気軽に発表できる場を提供します。
指導者を派遣することにより、活動の活発化を促進します。	指導者の新たな発掘・育成などを行い、地域の活動を支援します。



上川町には利用出来る施設がいっぱい!!

上川町にはみなさんが学ぶ場として利用できる施設がたくさんあります。生涯学習の施設をいくつかご紹介いたしますので、ぜひ活用してください。



かみんぐホール(地図①)

開館時間：8時30分～21時00分
(年末年始休館)

施設概要：多目的ホール、研修室など

料金：使用する部屋により異なります

問い合わせ：かみんぐホール ☎2-2371

公民館図書室(かみんぐホール内)(地図①)

開館時間：10時00分～17時00分
(年末年始休館)

施設概要：絵本、一般書、DVDなどの蔵書

料金：無料

問い合わせ：かみんぐホール ☎2-2371

郷土資料館 ふる里たいせつ館(地図④)

開館時間：9時00分～16時00分
(正午から13時まで閉館)
土・日曜日・祝祭日・年末年始休館
※11月から4月は10時開館

施設概要：開拓・自然資料などを展示

料金：無料

問い合わせ：郷土資料館 ☎2-1001

栄町パークゴルフ場(地図⑤)

利用期間：5月から10月末までを予定
(天候により変更有)

施設概要：36ホール。道具の貸し出し有
(貸し出しは総合体育館)

料金：無料

問い合わせ：総合体育館 ☎2-1140

総合体育館(地図②)

開館時間：9時00分～21時00分
(年末年始休館)祝祭日、日曜日は

施設概要：17時00分まで
アリーナ、トレーニングルームなど。
その他に道具の貸し出し有(別料金)

料金：高校生以下、65歳以上は無料
そのほかの方は1回50円

問い合わせ：総合体育館 ☎2-1140

総合グラウンド(地図③)

利用期間：5月から10月末までを予定
(天候により変更となる場合があります)

施設概要：Aグラウンド、Bグラウンド
夜間照明使用の場合はお問い合わせください

料金：無料

問い合わせ：総合体育館 ☎2-1140

中山スキー場(地図⑥)

利用時間：10時00分～21時00分
水・金・日曜日・祝祭日は16時まで。
月曜日は休み
※利用期間は12月中旬から3月中旬まで

施設概要：ロープリフト1基、休憩舎

料金：無料

問い合わせ：スキー場 ☎2-2683

町民プール(地図⑦)

開館時間：10時00分～21時00分
祝祭日、日曜日は16時30分まで
※6月から8月末まで開館

施設概要：25メートル×6レーン、幼児用プール

料金：高校生以下、65歳以上は無料
そのほかの方は1回100円

問い合わせ：町民プール ☎2-1398

諮 問 書

令和4年4月26日

上川町社会教育委員の会 様

上川町教育委員会
教育長 館 山 孝 佳

「第10次上川町社会教育中期振興計画の策定について」

令和5年度から令和9年度までの5年間にわたる「第10次上川町社会教育中期振興計画」の策定を下記理由により諮問いたします。

(諮問の理由)

上川町教育委員会では、平成30年度から令和4年度までの5年間にわたる「第9次社会教育中期振興計画」を「第10次上川町総合計画(前期)」を踏まえて策定し、時代に即した社会教育の推進に努めてまいりました。

これまでのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)が円熟を迎え、今後迎えるSociety5.0(サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステム社会)に対応する急速な社会の進展、また一方で地方における人口減少に伴う働き手の減少、それに伴う社会教育活動に関わる人口の減少。社会情勢の変化の波に迅速かつ的確に対応するため、すべての町民が生涯期にわたって学び続ける環境整備を行ってまいりました。

この度、第9次社会教育中期振興計画が最終年次を迎え、地域コミュニティを大切にしたい絆づくり・活力ある地域づくりを行う中から地域の特性を生かした魅力ある生涯学習・社会教育を今以上に進める必要があります。

第10次上川町総合計画も前期最終年次を迎えておりますことから、令和5年度からスタートする第10次上川町総合計画(後期)との整合性を図る視点にたち、地域づくりのために果たす社会教育のあり方を見極め、「いつでも・どこでも・だれでも」が学習に取り組むことができ、その成果を適切に生かすことができる生涯学習社会をめざした社会教育の推進について、現況の調査分析、問題点を整理し課題解決のための具体的方策を導き出していただきたいと存じます。

答 申 書

令和5年3月2日

上川町教育委員会
教育長 館 山 孝 佳 様

上川町社会教育委員の会
委員長 軽部 恭子

第10次上川町社会教育中期振興計画の策定について(答申)

令和4年4月26日付をもって教育委員会より諮問のありました『第10次上川町社会教育中期振興計画』の策定について、数度にわたる全体会議を開催し慎重に審議を重ね、その結果を別紙のとおり答申します。

記

本計画の策定にあたっては、社会教育委員の会議において第9次上川町社会教育中期振興計画の評価、反省や町民社会教育意識調査を実施してニーズの把握に努め、今後5年間の計画について審議を重ねてまいりました。

本答申は、町民意識調査から得られた結果を活かしながら生涯学習を進めるべく、テーマを「つながる」と定め、目指す姿として「地域の仲間との絆を深めながら、共に楽しく学びあい、健やかな成長を目指すとともに、郷土への愛着心を育みます。」を設定いたしました。

本答申の趣旨を生かされ、町民が生きがいを持ち、次世代への知識・知恵の継承を目指すことを期待いたします。

第10次上川町社会教育中期振興計画策定までの経過

- 5月25日 第1回社会教育委員の会開催 教育委員会から諮問 スケジュール確認、町民意識調査の協議
- 9月(書面) 第2回社会教育委員の会開催
- 12月19日 第3回社会教育委員の会開催 各年齢期における課題等のグループワーク
- 2月7日 第4回社会教育委員の会開催 町民意識調査集計結果報告、意識調査分析 議案審議・計画書原案作成
- 3月2日 第5回社会教育委員の会開催 原案承認、上川町教育委員会に答申

上川町社会教育委員の会委員名簿

- 委員長 軽部 恭子
- 副委員長 馬場 隆行
- 委員 松川 弘 堀尾 秋功砂 生駒 尚美 川上 秀昭
三塚 文雄 中村 道子 戸田 真理 笠木 陽子

諮 問 書

令和4年4月26日

上川町社会教育委員の会 様

上川町教育委員会
教育長 館 山 孝 佳

「第10次上川町社会教育中期振興計画の策定について」

令和5年度から令和9年度までの5年間にわたる「第10次上川町社会教育中期振興計画」の策定を下記理由により諮問いたします。

(諮問の理由)

上川町教育委員会では、平成30年度から令和4年度までの5年間にわたる「第9次社会教育中期振興計画」を「第10次上川町総合計画（前期）」を踏まえて策定し、時代に即した社会教育の推進に努めてまいりました。

これまでのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）が円熟を迎え、今後迎えるSociety5.0（サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステム社会）に対応する急速な社会の進展、また一方で地方における人口減少に伴う働き手の減少、それに伴う社会教育活動に関わる人口の減少。社会情勢の変化の波に迅速かつ的確に対応するため、すべての町民が生涯期にわたって学び続ける環境整備を行ってまいりました。

この度、第9次社会教育中期振興計画が最終年次を迎え、地域コミュニティを大切にしたい絆づくり・活力ある地域づくりを行う中から地域の特性を生かした魅力ある生涯学習・社会教育を今以上に進める必要があります。

第10次上川町総合計画も前期最終年次を迎えておりますことから、令和5年度からスタートする第10次上川町総合計画（後期）との整合性を図る視点にたち、地域づくりのために果たす社会教育のあり方を見極め、「いつでも・どこでも・だれでも」が学習に取り組むことができ、その成果を適切に生かすことができる生涯学習社会をめざした社会教育の推進について、現況の調査分析、問題点を整理し課題解決のための具体的方策を導き出していただきたいと存じます。

答 申 書

令和5年3月2日

上川町教育委員会
教育長 館 山 孝 佳 様

上川町社会教育委員の会
委員長 軽部 恭子

第10次上川町社会教育中期振興計画の策定について（答申）

令和4年4月26日付をもって教育委員会より諮問のありました『第10次上川町社会教育中期振興計画』の策定について、数度にわたる全体会議を開催し慎重に審議を重ね、その結果を別紙のとおり答申します。

記

本計画の策定にあたっては、社会教育委員の会議において第9次上川町社会教育中期振興計画の評価、反省や町民社会教育意識調査を実施してニーズの把握に努め、今後5年間の計画について審議を重ねてまいりました。

本答申は、町民意識調査から得られた結果を活かしながら生涯学習を進めるべく、テーマを「つながる」と定め、目指す姿として「地域の仲間との絆を深めながら、共に楽しく学びあい、健やかな成長を目指すとともに、郷土への愛着心を育みます。」を設定いたしました。

本答申の趣旨を生かされ、町民が生きがいを持ち、次世代への知識・知恵の継承を目指すことを期待いたします。

第10次上川町社会教育中期振興計画策定までの経過

- 5月25日 第1回社会教育委員の会開催 教育委員会から諮問 スケジュール確認、町民意識調査の協議
- 9月(書面) 第2回社会教育委員の会開催
- 12月19日 第3回社会教育委員の会開催 各年齢期における課題等のグループワーク
- 2月 7日 第4回社会教育委員の会開催 町民意識調査集計結果報告、意識調査分析 議案審議・計画書原案作成
- 3月 2日 第5回社会教育委員の会開催 原案承認、上川町教育委員会に答申

上川町社会教育委員の会委員名簿

- 委員長 軽部 恭子
- 副委員長 馬場 隆行
- 委員 松川 弘 堀尾 秋功砂 生駒 尚美 川上 秀昭
三塚 文雄 中村 道子 戸田 真理 笠木 陽子



本計画に掲載されているイラストは、上川小学校の
藤田 柊さん 渡部 美郁さん 工藤 凜さん 田村 美翔さん 横井 来海さん の作品です。

本計画策定にあたりアンケートにご協力いただいた町民の方に感謝の意を表すとともに、
社会教育の発展のためにご理解いただきますようお願い申し上げます。

発行／上川町教育委員会

〒078-1744 上川郡上川町北町114番地1 かみんぐホール